

5年連続で収集・仕分け、財団に寄贈

キューアンドエー、グループ会社にも呼びかけ

キューアンドエー株式会社(川田哲男社長、本社・東京都渋谷区)が、グループ会社と協力して集めたベルマークを仕分け・集計し、財団に寄贈しました。2017年に創立20周年の記念イベントとして初めてベルマーク活動をして以来、毎年取り組み、今回で5年目となりました。

寄贈されたのは、昨年8月から今年7月までの1年間に集めたベルマーク3500点。グループ会社の拠点は全国に14カ所あり、従業員数は全体で約3000人にもなります。収集は、本社から呼びかけるだけではなく、各拠点の総務担当者を「ベルマーク大使」に任命して協力を依頼。大使は、休憩室や執務室、自動販売機の横など、ベルマークが切り取りやすい場所に回収箱を設置する役割を担いました。従業員の目を引こうと、小さな電飾でライトアップされている回収箱もあったそうです。

加えて、広報部は収集の意識を高める工夫もしました。社内イントラネットや社内報でお知らせしたり、部から全社に送信するメールのフッターでベルマーク付き商品を紹介したりと、一人でも多くの社員の目に留まるよ

うに取り組みました。親会社の NEC ネットズエスアイも、収集に協力してくれました。

集まったマークを整理したのは、本社人事本部内のハピネス推進室のメンバーです。2020年4月に設置されたチームで、現在5人が所属しています。

メンバーの一人が、今年度からベルマークの担当になった佐藤愛さん。佐藤さんによると、仕分けを始めてすぐはペースがつかめなかったものの、次第にどの協賛会社が何番かが頭に入ってくると、スピードが上がってきたといいます。5人で2日間にわたって取り組み、計5時間で仕分け・集計を終えました。

佐藤さんは今回の活動を「各事業拠点の『ベルマーク大使』の皆さんの協力があったからこそ、成り立つ活動。本当に感謝しています」と振り返ります。今後の目標は「身近なところから始められる社会貢献活動としての意識付けをコツコツ継続すること」。5年目を迎えた活動ですが、「新しい担当としてまた1年目の気持ちを持ち、より一層意識を高めていきたい」と話してくれました。



④仕分け・集計をするハピネス推進室の皆さん ⑤⑥回収箱にはさみをつないでいる ⑦⑧「ベルマーク大使」がライトアップしてくれた

備品、早速活用しました! 支援先からメッセージ

福井・池田町立池田中

ベルマーク財団が今年度支援したへき地学校のひとつ、福井県の池田町立池田中学校(平井浩一校長、生徒47人)から感謝メッセージと、贈呈した備品を使っている写真が届きました。

同校が希望したのは、プロジェクターと昇降式テーブル。写真には、3年生が体育館で授業を受けている様子が写っていました。家庭科の授業の一環で、社会福祉協議会の職員を講師に招き、介助について学んだそうです。車いすを使っている人、杖をついている人などの介助が必要な人に対し、どのような声かけや誘導をしたらいいかを説明するためにプロジェクターが活用されました。

飯田清徳教頭は「高さの調節ができ、とても便利です。大切にに使わせていただきます」と話してくれました。今後も体育館での集会や特別授業に活用する予定

とのことです。池田町の最寄り駅は、福井駅からJR北陸本線で約20分の武生駅。駅からはバスで1時間かかります。杉の産地として知られ、町の総面積の9割が森林です。緑豊かな風景を楽しめるメガジップラインや、木のぬくもりを感じられる乳幼児向けの木の玉プール、子どもも楽しめる木組みのジャングルジムなど、自然の豊かさを体感できる施設が多くあります。



鹿児島・志布志市立田之浦小

鹿児島県の志布志市立田之浦小学校(長野則子校長、児童32人)から、感謝メッセージと写真が届きました。今年度、財団が支援したへき地学校です。

支援で贈られたのは、「天板拡張くん」。机の奥行きを広げるプレートです。同校では、タブレットを使う授業を積極的に採り入れていますが、机の上の限られたスペースを上手に使うことが難しかったそうです。濱田雅勝教頭は、子どもたちを見て「学用品が机から落ちると、集中力が途切れてしまうこともある」と感じていました。

届いた備品を机に取り付け、早速使ってみると「机上の整理整頓ができ、授業に集中できるようになった」と変化が目に見えて分かったといいます。

同校がある志布志市は、鹿児島県の東部、宮崎県との県境に位置しています。

市の中心部はJR日南線の終点、志布志駅周辺です。田之浦小はそこから車で約20分の山間部にあります。

同校の子どもたちは、伝統文化「神楽」に力を入れています。地域住民の指導を受けて練習し、夏祭りや秋祭りで披露しているそうです。他にも、パッションフルーツの収穫や出荷のお手伝い、梅を採って梅シロップのジュースを作るなど、地域に密着した体験授業があります。



東日本大震災支援対象校リスト

岩手・宮城・福島計112校

岩手県・小学校 (29校)

▽宮古市 鍛ヶ崎小、津軽石小、重茂小、崎山小、田老第一小▽大船渡市 盛小、大船渡小、末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、大船渡北小、綾里小、越喜来小▽陸前高田市 高田小、気仙小、広田小、小友小、米崎小、矢作小、竹駒小、横田小▽釜石市 釜石小、唐丹小、鶴住居小▽大槌町 大槌学園▽山田町 山田小、船越小▽岩泉町 小本小

岩手県・中学校 (22校)

▽宮古市 第一中、第二中、河南中、津軽石中、重茂中、田老第一中▽大船渡市 第一中、大船渡中、末崎中、東朋中▽陸前高田市 高田第一中、高田東中▽釜石市 釜石中、大平中、唐丹中、釜石東中▽大槌町 大槌学園、吉里吉里学園▽山田町 山田中▽岩泉町 小本中▽田野畑村 田野畑中▽野田村 野田中

宮城県・小学校 (10校)

▽石巻市 稲井小、大谷地小、広瀬小、須江小▽気仙沼市 鹿折小、月立小、大島小、小泉小▽東松島市 大塩小▽南三陸町 入谷小

宮城県・中学校 (29校)

▽石巻市 石巻中、住吉中、湊中、蛇田中、稲井中、山下中、青葉中、万石浦中、飯野川中、河北中、雄勝中、河南西中、牡鹿中▽気仙沼市 気仙沼中、条南中、鹿折中、新月中、松岩中、面瀬中、階上中、唐桑中、津谷中、大谷中▽東松島市 矢本第一中、矢本第二中、鳴瀬未来中▽女川町 女川中▽南三陸町 志津川中、歌津中

福島県・小学校 (11校)

南相馬市立小高小/広野町立広野小/楡葉町立楡葉小/富岡町立富岡小/川内村立川内小/中学園/大熊町立学び舎ゆめの森/双葉町立双葉北小/双葉南小/浪江町立なみえ創成小/葛尾村立葛尾小/飯館村立いいたて希望の里学園

福島県・中学校 (11校)

いわき市立豊間中/川俣町立山木屋中/広野町立広野中/楡葉町立楡葉中/富岡町立富岡中/川内村立川内小/中学園/大熊町立学び舎ゆめの森/双葉町立双葉中/浪江町立なみえ創成中/葛尾村立葛尾中/飯館村立いいたて希望の里学園

東京・大田区立山王小 PTAが財団見学

東京都大田区の区立山王小学校PTA文化部の前田智子さんと吉田比呂子さんが9月29日、財団事務所を見学しました。

同校のベルマーク活動を担うPTA文化部の部長と一緒に務めているそうです。

検収係と証票管理係の作業を見学してもらいました。見学を終えて、「ベルマークを送ったあと、残高が反映されるのが待ち遠しく感じていました」と直近のマーク送付を振り返った吉田さん。発送してから、残高がいつ反映されるのか気になって仕方なかったといいます。「実際に見て、それだけの時間がかかることに納得しました」と話してくれました。



大台達成校

9月	
大宮南小	さいたま市大宮区 9,023,817
春江小	福井県坂井市 8,023,973
蓮沼小	さいたま市見沼区 7,006,107
中和田小	横浜市泉区 7,003,167
桜丘小	東京都世田谷区 6,014,347
本山第二小	神戸市東灘区 6,005,685
穂高北小	長野県安曇野市 5,031,152
六郷小	群馬県高崎市 4,003,749
海老沼小	さいたま市見沼区 4,030,377
八千代台小	千葉県八千代市 4,000,025
旭小	横浜市鶴見区 4,037,517
大曾根小	横浜市港北区 4,010,627
沼間小	神奈川県逗子市 4,029,682
古川第二小	宮城県大崎市 3,016,656
目黒星美学園小	
	東京都目黒区 3,015,269
南太田小	横浜市南区 3,019,160
小机小	横浜市港北区 3,012,426
石ヶ瀬小	愛知県大府市 3,009,082
飛松小	神戸市須磨区 3,018,107
杉戸第二小	埼玉県杉戸町 2,000,497
上高野小	埼玉県幸手市 2,004,424
土橋小	川崎市宮前区 1,017,620
陵成中	三重県桑名市 1,001,741
大谷小	福岡県春日市 1,032,148